

事業主の皆さんへ

従業員とその御家族は 特定健康診査を受けていますか？

特定健康診査は、メタボリックシンドロームに着目した、40歳以上の従業員(被保険者)及び御家族(被扶養者)の健診です。

従業員と御家族の皆さんが、健康を維持することは、事業所での仕事の効率アップにもつながりますし、医療費や保険料の増加を抑制することにもなります。

加入している医療保険者(全国健康保険協会・各健康保険組合・国民健康保険)から、特定健康診査受診券が事業所に届いたら、必ず従業員とその御家族に配付し、受診を勧めてください。

各保険者の平成20～21年の受診率は、国の目標値の5割程度となっています。特に御家族の受診率が低く、受診勧奨が重要となります。

受診できる医療機関や健診費用は、加入している医療保険者に確認しましょう。

特定健康診査受診率

保険者	20年		21年		国目標値
市町村国保(福島県)	36.4%		36.9%		65%以上
全国健康保険協会 (福島県)	従業員	御家族	従業員	御家族	70%以上
	44.7%	14.5%	48.7%	16.5%	

出典 厚生労働省：平成21年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況(確報値)

全国健康保険協会福島支部：実績報告 福島県国民健康保険団体連合会：実績報告

注1：全国健康保険協会に加入されている被扶養者の方は、市町村で実施している集団検診、がん検診が受診できます。

注2：従業員については事業主が行う労働安全衛生法に基づく定期の健康診断を受診することにより、新たに特定健康診査を受診する必要はありません。

注3：保険者によって受診券の発行には、申請が必要な場合があります。

県北地域保健・職域保健連携推進連絡会

事務局：福島県県北保健福祉事務所 健康福祉部 健康増進課

住所：〒960-8012 福島市御山町8番30号 電話 024-534-4161

(資料編)

福島県民の生活習慣病に関する状況は下記のとおり悪い状況にあります。1年に1回特定健康診査を受診し、必要な方は特定保健指導を利用することによって、生活習慣を改善しましょう。

1 国民健康・栄養調査から見る福島県の現状

平成18～22年の5年分の国民健康・栄養調査の結果、福島県は生活習慣病(心筋梗塞・脳梗塞等)の原因となる肥満割合・食塩摂取量・喫煙率が全国的に悪い状況にあります。

肥満者の割合(男性20～69歳)

順位	都道府県	割合(%)
1	沖縄県	45.2
2	宮崎県	44.7
3	栃木県	40.5
4	福島県	40.3
5	徳島県	40.1
全国		31.1



食塩摂取量(男性20歳以上)

順位	都道府県	平均値(g/日)
1	山梨県	13.3
2	青森県	13.0
3	福島県	13.0
4	福井県	12.9
5	山形県	12.7
全国		11.8

食塩摂取量(女性20歳以上)

順位	都道府県	平均値(g/日)
1	山梨県	11.2
2	福島県	11.0
3	茨城県	10.9
4	鳥取県	10.9
5	青森県	10.9
全国		10.1

現在習慣的に喫煙している者の割合(男性20歳以上)

順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1	青森県	44.8	7	栃木県	41.5
2	和歌山県	44.7	8	高知県	41.4
3	鳥取県	43.7	9	宮城県	41.4
4	北海道	42.6	10	福岡県	41.0
5	山梨県	42.5	11	山口県	40.6
6	富山県	41.9	12	福島県	40.4
全国		37.2			

注 (1)年齢調整した値

(2)小数第2位を四捨五入

(3)順位については小数第3位の値を用いて評価

出典 厚生労働省：平成22年国民健康・栄養調査結果の概要

2 平成22年都道府県別年齢調整死亡率から見る福島県の状況

平成22年都道府県別年齢調整死亡率の結果、福島県は、急性心筋梗塞(男・女)、脳梗塞(女)が全国1位になっています。

急性心筋梗塞(男性)

順位	都道府県	率
1	福島県	36.7
2	高知県	34.0
3	鳥取県	33.8
4	青森県	32.0
5	福井県	26.7
全国		20.4

急性心筋梗塞(女性)

順位	都道府県	率
1	福島県	15.5
2	長崎県	13.0
3	高知県	12.1
4	鳥取県	12.1
5	茨城県	11.4
全国		8.4

出典 厚生労働省：平成22年都道府県別年齢調整死亡率